



■ スマートフォンとの付き合い方

回答いただいた使用状況アンケートにおいて、「8.トラブルに遭ったことがある」に注目しました。8.1%=30 人程が、何らかのトラブルに遭っています。いま、高校 1 年生。スマートフォンを持ち出してから長くて数年間ででしょうか。すでに解決できたのか、これからまた同じようなトラブルにならないようにどう気を付けているのか、ご家庭で話ができているのでしょうか、とても気になることです。

未成年の皆さんには、とれる責任ととれない責任があります。(大人も同じくですが)危うきに近寄らず。【第 1 学年 生活指導部】からのまとめにもあるように、ルールがある理由も、学校は対面の人間関係を調整する場所であることも、理解したうえで行動しましょう。

かく言う私(浅井)も、平日 2 時間、持ち上げは 60 回もの平均でした。音楽プレーヤーや電子 Book、検索機能など、確かに便利に「使っている」つもりでも、機器に「使われていない」か。このような学びの機会の度に、スマホに自らの時間を侵食されつつある危機を感じます。すぐ手に取れるところに本を置くなどの、対策をしなければと自省する次第です。

■ 「生野高生になる」③ 学習習慣の形成

新しい高校生活が始まって、1 か月。みなさんも少しずつ環境に慣れてきたことでしょう。GW 明けのタイミングは気が緩みやすい時期？いえ、ここから本格的に学びのリズムを作る大切な時期になります。

4 月 9 日の進路集会で話があったことを繰り返します。この時期に意識してほしいことは、「**学習の習慣を形成すること**」です。初めは大変に感じるかもしれませんが、コツコツ

と積み重ねることで、無理なく学び続ける力がついていきます。

① 毎日決まった時間に学習する

授業の復習や課題に取り組む時間を決めておくと、習慣化しやすくなります。「後でやろう」と思っていると、気づけば時間が過ぎてしまうもの。まずは短い時間でもいいので、勉強する習慣を作りましょう。「これをやらねば」「あれをやらねば」という積み上げ方式で学習計画を立てると、睡眠時間を削ってしまい、いい結果にはなりません。「この時間でこれをする」という計画と実践を続けていきましょう。

② 質問することを恐れない

授業でわからないことがあれば、遠慮せずに先生や友人に聞いてみましょう。わからないことをそのままにしないことが、確かな学力につながります。

生野高校での学びは決して簡単なものではありません。しかし、毎日の積み重ねが大きな力になります。各教科の方向性をを振り返り、今こそ、「**自分で学ぶ力**」を育てるタイミングです。

先日、今春卒業した 77 期生が 80 期生に向けて生野高校での思い出を話してくれました。(裏面参照) 全体講話の後にもたくさん質問がありました。希望者講習に参加した人たちは、今していることと大学受験とのつながりを見つけられましたか。少しでも不安が解消されることを願っています。

6 月には初めての定期考査、7 月には文理選択があります。焦ってしまう原因の一つは、向き合うのが直前だからです。準備できるところから準備をしていきましょう。

以下は、同じく 77 期生が後輩のために、と残したメッセージ「勉強との向き合い方」の一部です。

・勉強面で、1、2 年生の時の分の貯金にすごく助けられました。切り替えを大切に、日ごろからがんばってください。

・1、2 年のころから、基礎を着実に固めておくべきです。シス単（英語の単語）×古単（古文単語）はおろそかにせず取り組んでおくと、本当に役立つと思います。そして、自分の行きたい学部・大学を早めに決めて目標を持っておくと、勉強が行き詰まった時やモチベーションが落ちているとき、きっと支えになってくれると思います。

・「赤点をとらない」をノーマルにがんばってほしい。部活・行事をめちゃくちゃ楽しむ。

・スマホを封印すれば、びっくりするぐらい集中できます。

・（記述のために）字は綺麗に書けるようにしておいた方がよい。

・わからないことがどうかそういうプライドは捨てて、わからないことは仕方ないので、理解するまで質問する。

・SNS との付き合い方には十分に気を付けて。2 年の春休みころからスクリーンタイムを減らしていけばよかったと今更後悔しています。

・できるだけ学校を休まないこと。授業めっちゃおいていけます。（特に物理、数学）自分で勉強するよりも授業を受ける方が絶対に理解しやすいです。

・学校の授業はサボることなく真面目に聞いていると、必ず良いことがあるので、ぜひ、内職しないようにしてください。また、周りの環境に文句ばかり言っていると、本当に駄目な人間になってしまうので、健全な精神を保つことのできるよう努力してください。

■ 連絡 5/10(土) 土曜学習日③

【持参物】各自の自学自習に必要なもの

【集合時間】9 時、自教室

【内容】

自教室にて自学自習。何に取り組むかあらかじめ計画しておく。希望者は至誠ホールにて講習（9 時国語、10 時半数学）

（教室の施錠はありませんので、貴重品を教室に置いたままにしないようにしてください）

なお、土日は学校へ電話がつながりません。土曜学習日については欠席連絡等の必要ありません。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

9 日（金）3 限目授業参観・PTA 総会

10 日（土）土曜学習日③

15 日（木）進路講演会・スタサポ結果返却

17 日（土）土曜学習日④

22 日（木）防災避難訓練

23 日（金）前期中間考査 2 週間前

27 日（火）体育祭 ※天候による、掲示確認

31 日（土）土曜学習日⑤

6 月

6 日（金）～12 日（木）前期中間考査

9 日（月）進路保護者説明会

「大学生に聞く」

1. 振り返ってみて中学と高校の勉強の違い

中学は全て指示通りに動けば大丈夫だったが、高校に入ってから自分でスケジュール管理をする必要があり、慣れるまで時間がかかった。70分授業に慣れるまで大変だったが、集中できるようになり、時間が速く感じるようになった。高校になると、問題集の難易度が上がったのに驚いた。

2. 1年生の時の授業の受け方

受け身でいるだけではしんどいので、自分の中で常に考えることを心がけ、集中力を保つようにしていた。

3. たくさんの課題をどう仕上げていたか

スキマ時間を活用したり、好きな科目から積極的に取り組むようにしたりしていた。

4. 部活動との向き合い方

部活動が休みの日にその週の復習をした。授業中心にして生活していた。授業を大切にしていれば3年になって困らない。

5. 1年の文理選択

元から得意・好きな科目を中心に文系、理系を選んだ。ただし、興味のある学部や進路に必要であれば得意・好きに関係なく必要になる。

6. 大学に通ってみて

国立大学なので全国から人が集まっており、人間関係が広がった。一般教養の授業で他学部の人とも交流できるのも魅力的。

7. 80期のみなさんへ

3年になって受験がしんどいと思った時、友人の存在に救われた。今から友人を大切にしてほしい。1年の間は行事や部活動も悔いなく楽しんでほしい。入試にはさまざまな方式があるので、調べる必要がある。1年の夏休みにオープンキャンパスに行ってイメージをふくらませることが大切。

二人にはインタビュー形式で40分間、話をさせていただきました。一部抜粋でまとめています。



↑ 希望者講習の様子です